

8. 本時の学習（4/8）

1年2組 指導者 杉田いずみ

(1) 目標

◎見付けたことをどのように文にするのかを理解し、一文ずつ書くことができる。

(2) 本時の展開

過程	学習活動	☆手だて ○指導の留意点 ◆評価【方法】
導入	1. 前時までの学習を振り返り、本時の見通しをもつ。	☆生活科と関連させ、事前にニワトリの観察をさせておく。
展開	2. 本時のめあてを知る。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ニワトリの かんさつ文をかこう。 </div>	
	3. 前時に書いたカードを基に、モデル文と照らし合わせながら、書く。 ・からだ ・かおのようす（目・くちばし） ・足 ・えさを食べる様子	○読み手を意識させ、分かりやすく丁寧に正しく書くことを意識させる。 ○まず目の用紙の使い方として、以下のことを押さえる。 ・苗字と名前の間を一ます空ける。 ・名前の下も一ます空ける。 ・まとまりごとに段落を分け、書き出しは一ます空ける。 ・句読点の位置を確認する。 ☆一文ずつ、確認しながら書かせる。
	4. 書いた文を読み返して直す。	○書いたら読み直す。字の間違いを直す。 ◆見付けたことを基に、一つの文に一つの事柄を書いている。【作文】 ◆句読点を正しく表記している。【作文】
	5. ニワトリの観察文を発表する。	
まとめ	6. 振り返りをし、次時の見通しをもつ。	○次回、作文を仕上げ、発表することを知らせる。